

新たな交流と更なる結束 平成25年 中小企業団体千葉県新春交流会 開催

千葉県の「中小企業組合運動」ここにあり 県内中小企業団体関係者ら約六〇〇名が参集

本会は1月25日、市内のホテルニューオータニ二幕張において、「平成25年 中小企業団体千葉県新春交流会」を開催した。

同交流会は、組合等の発展に尽力された方々を称える「表彰式（第1部）」と「賀詞交歓会（第2部）」から成り、当日は、森田健作千葉

県知事をはじめとする多くの来賓

25年 中小企業団体千葉県新春交流

千葉県中小企業団体中央会



平成25年 中小企業団体千葉県新春交流会
あいさつをする坂戸会長

にご臨席いただく中、本会会員など約六〇〇名が参加した。

会場は終始熱気に包まれ、業種を越えた積極的な交流が図られるとともに、更なる連携強化・活路開拓への気運が醸成された。

表彰式（第1部）

同式典では、「千葉県中小企業団体中央会長表彰」として優良組合（5組合）、組合功労者（31名）、優良組合青年部（1組合）、組合事務局優良専従役員（7名）、千葉県中小企業団体中央会長感謝状（1名）の授与が行われた。

なお、受賞者は次の通り（敬称略）。括弧内は代表者、団体名など。

中央会長表彰

【優良組合】▽千葉県古紙加工処理協（新井勝夫）▽栄町建設協（高

野内勝幸）▽千葉県化粧品小売協（野平耕司）▽協八千代トラックセンター（浅野正敏）▽協千葉電設協会（田中宏幸）

【組合功労者】▽齋藤忠司（千葉県野田電気工業協）▽藤川浩志（千葉県味噌工業協）▽谷口貴光（松戸市一般廃棄物処理事業協）▽鈴木豊彦（千葉県菓子工業組合）▽石井栄（鎌ヶ谷市清掃事業協）▽

佐藤浩昭（千葉県クレーン建設重機協）▽大野光政（千葉市清掃事業協）▽青沼彰（協シー・ティー・テイ）▽野村嘉弘（いすみ清掃管理事業協）▽溝口了介（企オパールいなげ）▽高橋東（千葉県牛乳

商業組合）▽杉本恵子（企業組合労働船橋事業団）▽伊東實（千葉県商店街連合会）▽宮野重良（千葉県土砂事業協連合会）▽三橋正文（大久保商店街協）▽関塚弘行（船

橋総合卸商業団地協）▽加藤克美（館山市商業協）▽高石宏（市原鷹工業協）▽鏑木延克（千葉県レッ

カー事業協）▽鹿島清太郎（千葉県建設防水工事業協）▽吉田俊夫（協光ヶ丘商店会）▽平山長次郎（船橋建設業協）▽北条正雄（江戸川台駅前商店街振興組合）▽森川文

明（千葉県板金工業組合）▽植草裕一（千葉銀座商店街振興組合）▽篠田好造（千葉県海苔問屋協）▽伊藤秀治（千葉県中央電気工業協）▽山本剛（千葉市下水管路維持協）▽勅使河原中（千葉県火災共済協）▽小林庸浩（袖ヶ浦造園協）▽柴田文成（千葉中央生コングリート協）

【優良組合青年部】▽茂原卸商業団地協（白井洋一青年部長）

【組合事務局優良専従役員】▽北崎純子（習志野市資源回収協）▽鈴木康夫（千葉県電気工事工業組合）▽海津保子（船橋市有価物回収協）▽小林和子（千葉県コンクリート製品協）▽戸野塚博文（千葉市書店協）▽早坂久美子（船橋総合建設協）▽川江君子（柏駅前通り商店街振興組合）

【千葉県中央会長感謝状】▽安藤孝（中小企業診断士）

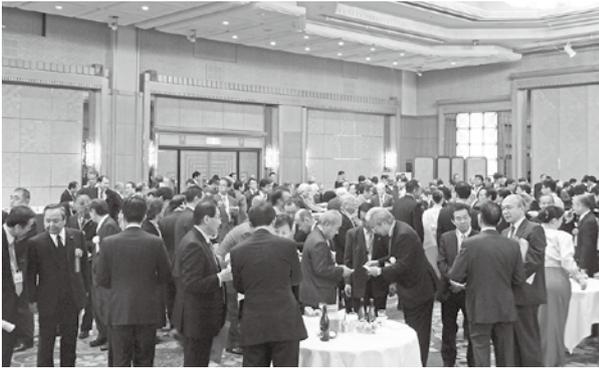
このほか、平成24年度「千葉のちから中小企業表彰」と、「第64回中小企業団体全国大会」で表彰された方々をご披露し、表彰式は盛会裏に終了した。



「表彰式」受賞者を代表し謝辞を述べる
千葉県味噌工業（協）の藤川理事長



平成25年 中小企業団体千葉県新春交流会
「表彰式」



「賀詞交歓会」
ご歓談・会場風景



「鏡開き」（左から）田中県議会議員、田嶋衆議院議員、
森田知事、坂戸会長、松野衆議院議員、阿井県議会議員

賀詞交歓会（第2部）



▲4足歩行ロボット



▲協調ロボット

その他、配管検査ロボット、壁面移動（窓ふき）
ロボット、階段移動ロボットのデモンストレーションを行った。

本年度の産学連携交流会では、
ロボット技術をテーマとして、千
葉工業大学 未来ロボティクス学
科の米田完教授、王志東教授より、
それぞれ研究技術の紹介と、ロボッ
トのデモンストレーションを行って
いただいた。

産学連携交流会 開催

本会は12月18日、千葉県異業種
交流融合化協議会（会長 田村修
二）とともに、中小企業及び中小
企業組合の新技术・新事業の創出
並びに大学との研究開発ネット
ワークの構築を目的とした「産学
連携交流会」を千葉工業大学にて
開催した。

【米田完教授】▽歩行ロボット、車
輪型ロボットなど移動ロボット全
般の技術を研究されている。壁面・
天井面を移動できるロボットや配
管内の点検をするロボットなど、
人間の役に立つロボットの開発に
取り組まれている。

【王志東教授】▽ロボットの協調作
業を中心とした高度な技術を研究。
協調作業とは、ロボット同士、ロ
ボットと人間など、ロボットが相手
と連携して作業を行う場合、例えば
力を加減するなど、ロボット自身が
他者を理解して行動する技術。